

日本建築学会東北支部 建築計画・地方計画・建築デザイン教育部会  
特色ある支部事業の合同企画 その3

## 「計画の震災」としての東日本大震災の次なるステージに向けて」

主催 日本建築学会東北支部  
共催 東北大学大学院経済学研究科・震災復興研究センター

### 企画主旨

今回の東日本大震災は、「計画の震災」と言われている。

復興計画の策定、集団移転における合意形成、公共施設の立地・復旧、仮設住宅の供給と実現、各種復興プロセスにおける専門家の関わり等、様々な計画に関わる分野横断的な課題や検討項目は多岐にわたる。

今回の被災地の多くが震災前から過疎化、縮退化などの地域計画上の課題を抱え、検討すべき論点は多様であり複雑である。発災から2年が経過しそれらの課題は次なるステージを迎えつつある。

本企画では、この次なる課題を、海外を含めた様々な震災復興のフレームとプロセスの共有。都市型大災害の阪神・淡路大震災（1995年）と中山間地域を襲った新潟県中越地震（2004年）における復興のプロセスと現地に残された課題。今回の東日本大震災の復興事業はこの過去の二つの震災経験がベースとなり制度設計されたものも多い。そして、今回の震災復興においても、その全貌と課題への道筋が特に見えにくい「フクシマ」。

本企画では、これらの各論点を実践的にかつ最前線で活躍されている専門家の方々を招聘し、会場を含めたディスカッションの中から、計画の震災に向けた次なる課題を共有するための手掛かりを捉えたい。

### 概要

日時：平成25年3月5日（火）15：00～18：00

場所：東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーションセンター  
（〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1 エクステンション教育研究棟 講義室A）

参加費：無料（定員100名）

### スケジュール

15：00～16：30 主題解説

牧 紀男（京都大学） 「3年目に向けた災害復興のスキームとプロセス」

三浦 研（大阪市立大学） 「高齢者居住を視点とした阪神・淡路大震災の復興プロセスの課題」

岩佐 明彦（新潟大学） 「中山間地域の再生を視点とした2004年中越地震の復興プロセスの課題」

芳賀沼 整（はりゅうウッドスタジオ） 「フクシマの今とこれからの課題」

16：40～17：45 パネルディスカッション

パネリスト 牧 紀男、三浦 研、岩佐 明彦、芳賀沼 整

進行 坂口 大洋（仙台高等専門学校）+石井 敏（東北工業大学）

まとめ 増田聡（東北大学）

### <問い合わせ先>

〒981-1239

宮城県名取市愛島塩手字野田山48 仙台高等専門学校 建築デザイン学科  
坂口研究室

Tel +81-22-381-0299

Fax +81-22-381-0293(共通)

e-mail [sakaguchitaiyo@sendai-nct.ac.jp](mailto:sakaguchitaiyo@sendai-nct.ac.jp)